





令和4年度 基本評価調書①		所管部局	教育庁	所管課	生徒指導・学校安全課		
施策名	豊かな人間性と社会性を育む教育の推進			施策コード	1112		
政策体系(中項目)	北海道の未来を拓く人材の育成			政策体系コード	3(2)A		
関連重点戦略計画等	知事公約 創生総合戦略					事務事業数	14
SDGs					総合判定	概ね順調	
予算額(千円)	R 4	303,156	R 3	285,682	R 2	306,707	

施策目標	<ul style="list-style-type: none"> ・未来を担う子どもたちが健やかに成長できる環境づくりを進めるため、いじめ・不登校の未然防止や早期発見・早期対応に向けた取組を推進する。 ・他者と共によりよく生きるための力を育む学びの環境づくりを進めるため、道徳教育やふるさと教育の充実に向けた取組を推進する。 	
現状と課題	依然として、多くの児童生徒がいじめに苦しんだり、不登校となっている状況。	
前年度二次評価意見		対応状況(R4.3時点)

	今年度の取組	実績と成果
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒がいじめの問題を自分のこととして捉え考え、議論する主体的な活動の推進や、一人一台端末を活用した相談窓口等による相談支援体制の充実など、いじめに対応した取組の充実。 ・豊かな人間性と社会性を育むため、道徳教育の充実に向けた、教員の指導力向上に関する研修を推進。 ・北海道の未来を拓く人材を育成するため、ふるさと教育の充実に向けた、実践事例交流会の実施や実践事例のWeb掲載による普及啓発。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一台端末を活用した相談窓口「おなやみポスト」を新たに開設(R4.5.30)したことにより、いじめの早期発見・早期対応に繋がっている。(R4.7末相談件数：288件) ・各管内において、児童生徒がいじめ防止に向けて協議を行う「どさんこ子ども地区会議」を開催する。(R4.7～R5.3) ・子どもたちの豊かな人間性と社会性を育むため、学校の教育活動全体を通じた道徳教育の改善充実を図る北海道道徳教育推進会議をオンラインで開催した。(R4.7.15) ・北海道の未来を拓く人材を育成するため、北海道に対する愛着や誇りを育む教育活動の在り方について理解を深めるふるさと教育・観光教育等実践事例交流会をオンラインで開催した。(R4.7.6)

連携状況	「北海道いじめ問題対策連絡協議会」(R3:1回、R4:2回予定)「地域いじめ問題等対策連絡協議会」(R3、R4:14管内で2回実施)を開催し、関係機関及び団体といじめ問題に係る情報共有や改善策等についての意見交換を行うとともに、各地域において関係機関・団体との連携強化を図る。
緊急性優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導上の課題の対応に向け、国への要望を実施(R5全庁要望 24 未来を切り拓く力を育成するための教育環境の充実(4)いじめなど生徒指導上の課題の対応に向けた財政措置の拡充) ・いじめをはじめとした生徒指導上の課題が複雑化・深刻化(いじめ認知件数19,145(公立小中高特)、不登校児童生徒数9,671(公立小中高)【R2年度文部科学省調査】)していることから、「北海道いじめ問題審議会」(R3:3回、R4:3回予定)における委員からの意見を踏まえ、学校、PTA、青少年育成団体、警察、児童相談所等が参加する「北海道いじめ問題対策連絡協議会」(R3:1回、R4:2回予定)を開催し、地域のいじめ・不登校等への取組に反映しているほか、ネット上のいじめから児童生徒を守るための保護者向け講習会等の取組に反映している。 ・北海道いじめ問題審議会において、いじめの認知やネット上でのいじめ等への対応を求める意見が多かったことを踏まえ、いじめや不登校に係る研修や資料等での普及啓発に取り組んでいく。

令和4年度 基本評価調書②	施策名	豊かな人間性と社会性を育む教育の推進	施策コード	1112
----------------------	------------	--------------------	--------------	------

〈成果指標の達成状況〉 ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	増加	%	H30年度	R1年度	R2年度	最終目標 (R4)	達成率	指標判定
いじめの認知件数のうち、解消している割合 (小学校)		目標値	100	100	100	100	95.8%	B
		実績値	96.9	97.0	95.8			

設定理由 いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向け教育相談体制の充実や児童生徒の人間関係を築く力の育成、関係機関と連携した支援体制の整備・充実に取り組む観点から、指標を設定。

分析 (主な取組と成果)

各種相談窓口の周知が進みいじめの早期発見が進んだことや、法のいじめの定義を踏まえ、学校いじめ対策組織を中心にいじめの積極的な認知が進んだが、早期解決を図ることができず、いじめ解消まで長い期間を要したことにより、解消率が下がったと考えられる。

指標名②	増加	%	H30年度	R1年度	R2年度	最終目標 (R4)	達成率	指標判定
いじめの認知件数のうち、解消している割合 (中学校)		目標値	100	100	100	100	95.7%	B
		実績値	96.7	96.9	95.7			

設定理由 いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向け教育相談体制の充実や児童生徒の人間関係を築く力の育成、関係機関と連携した支援体制の整備・充実に取り組む観点から、指標を設定。

分析 (主な取組と成果)

各種相談窓口の周知が進みいじめの早期発見が進んだことや、法のいじめの定義を踏まえ、学校いじめ対策組織を中心にいじめの積極的な認知が進んだが、早期解決を図ることができず、いじめ解消まで長い期間を要したことにより、解消率が下がったと考えられる。

指標名③	増加	%	H30年度	R1年度	R2年度	最終目標 (R4)	達成率	指標判定
いじめの認知件数のうち、解消している割合 (高等学校)		目標値	100	100	100	100	92.1%	B
		実績値	94.2	87.9	92.1			

設定理由 いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向け教育相談体制の充実や児童生徒の人間関係を築く力の育成、関係機関と連携した支援体制の整備・充実に取り組む観点から、指標を設定。

分析 (主な取組と成果)

各学校においていじめの積極的な認知が進むとともに、学校いじめ対策組織を中心に、いじめの解消に向けた組織的な対応や関係機関と連携した取組が進んだことにより、解消率が上がったと考えられる。

【総合判定】

連携状況	○	緊急性 優先性	○	指標判定	B	総合判定	概ね順調
-------------	---	--------------------	---	-------------	---	-------------	------

	対応方針番号	内容
	翌年度に向けた対応方針	①
②		アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習や北方領土に関する学習における施設や人材、動画教材等の活用促進に向けて、ふるさと教育・観光教育等実践事例交流会での説明及び情報提供や、実践事例のWeb掲載による普及啓発、学校教育指導訪問等における指導助言など、ふるさと教育の一層の充実に取り組む。

令和4年度 基本評価調書③	施策名	豊かな人間性と社会性を育む教育の推進	施策コード	1112
---------------	-----	--------------------	-------	------

〈二次政策評価〉

R4年度 二次政策 評価	<p>【施策目標の達成状況】</p> <p>総合計画に掲げる、次代の社会を担う子ども・青少年が健全に育成される環境づくりのため、他者と共によりよく生きるための力を育む学びの環境の整備が重要であり、総合計画の政策目標の実現に向け、取組の一層の推進を検討すること。</p>
--------------------	--

二次政策 評価への 対応	<p>「北海道いじめ防止基本方針」の改定(R5.3施行)により、ポイントとして掲げる「望ましい人間関係を構築する能力等の育成を図る取組の充実」、「いじめを生まない安全・安心な学校の環境づくりの推進」に効果的に取り組むことができるよう、学校、家庭、地域、行政の連携を深め、児童生徒に関わる全ての人々が共通認識を持って取組を推進するとともに、市町村教育委員会及び学校に対し指導助言する。</p>		
R5 施策の 方向性	対応方針番号	方向性	関連する事務事業 (新規・拡充)
	①	<p>スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置の充実を図るほか、不登校児童生徒へのオンラインでのカウンセリングや、「緊急支援チーム」の派遣等の体制整備を進めると共に、「北海道いじめ問題等対策連絡協議会」での協議を踏まえながら、学校・地域・関係機関の連携を深め、生徒指導・教育相談体制の一層の充実に取り組む。</p>	<p>拡充：いじめ等対策 総合推進事業費</p>
	②	<p>北海道についての理解を深め、郷土に対する愛着や誇り、社会性のより一層の向上を図るため、施設や人材、動画教材等を活用したふるさと教育の優れた実践事例を取りまとめ、Webページに掲載し、普及啓発するとともに、学校教育指導訪問において、指導助言する。</p>	
	③		
R5新規事業数			

令和4年度 補助指標調書①	施策名	豊かな人間性と社会性を育む教育の推進	施策コード	1112
----------------------	------------	--------------------	--------------	------

【成果指標の達成状況】

補助指標名①	増加	%	R1年度	R2年度	R3年度	最終目標(R4)	達成率	指標判定
いじめに対する意識（小学校）		目標値	100	100	100	100	87.5%	C
		実績値	87.2	88.9	87.5			
設定理由	次代の社会を担う子ども・青少年が健全に育成される環境づくりに向け、いじめの未然防止を取組を推進する観点から、指標を設定。（R2年度は参考値）							
分析（主な取組と成果）								
各管内で開催した「どさんこ子ども地区会議」に参加した児童が、その成果を自校に還元するなど、各学校においていじめの未然防止に向けた主体的な取組が推進されたが、結果に大きな変化は見られなかった。								

補助指標名②	増加	%	R1年度	R2年度	R3年度	最終目標(R4)	達成率	指標判定
いじめに対する意識（中学校）		目標値	100	100	100	100	83.7%	C
		実績値	79.3	83.2	83.7			
設定理由	次代の社会を担う子ども・青少年が健全に育成される環境づくりに向け、いじめの未然防止を取組を推進する観点から、指標を設定。（R2年度は参考値）							
分析（主な取組と成果）								
各管内で開催した「どさんこ子ども地区会議」に参加した生徒が、その成果を自校に還元するなど、各学校においていじめの未然防止に向けた主体的な取組の充実が図られたことにより、結果が上昇したと考えられる。								

補助指標名③	増加	%	H30年度	R1年度	R2年度	最終目標(R4)	達成率	指標判定
アイヌの人たちに関する施設や教材を活用した学校の割合（小）		目標値	47.0	60.3	73.5	100	82.7%	C
		実績値	46.2	45.0	60.8			
設定理由	アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習において、施設や人材、動画教材を活用した体験を通じた学習を行うことにより、ふるさと教育の充実に向けた推進状況を把握。							
分析（主な取組と成果）								
アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習における施設や人材、動画教材等の活用促進に向けて、ふるさと教育・観光教育等実践事例交流会での説明及び情報提供により、活用した学校数が増加した。（H30：386校、R1：368校、R2：483校）								

補助指標名④	増加	%	H30年度	R1年度	R2年度	最終目標(R4)	達成率	指標判定
アイヌの人たちに関する施設や教材を活用した学校の割合（中）		目標値	35.1	51.3	67.5	100	93.2%	B
		実績値	29.2	20.0	62.9			
設定理由	アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習において、施設や人材、動画教材を活用した体験を通じた学習を行うことにより、ふるさと教育の充実に向けた推進状況を把握。							
分析（主な取組と成果）								
アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習における施設や人材、動画教材等の活用促進に向けて、ふるさと教育・観光教育等実践事例交流会での説明及び情報提供により、活用した学校数が増加した。（H30：141校、R1：96校、R2：300校）								

令和4年度 補助指標調書②	施策名	豊かな人間性と社会性を育む教育の推進	施策コード	1112
----------------------	------------	--------------------	--------------	------

【成果指標の達成状況】

補助指標名⑤	増加	%	H30年度	R1年度	R2年度	最終目標(R4)	達成率	指標判定
北方領土に関する施設や教材を活用した学校の割合(小)	目標値		32.1	49.1	66.1	100	46.3%	D
	実績値		22.6	12.5	30.6			

設定理由 北方領土に関する学習において、施設や人材、動画教材を活用した体験を通じた学習を行うことにより、ふるさと教育の充実に向けた推進状況を把握。

分析(主な取組と成果)

北方領土に関する学習における施設や人材、動画教材等の活用促進に向けて、ふるさと教育・観光教育等実践事例交流会での説明及び情報提供により、活用した学校数が増加した。
(H30: 189校、R1: 102校、R2: 243校)

補助指標名⑥	増加	%	H30年度	R1年度	R2年度	最終目標(R4)	達成率	指標判定
北方領土に関する施設や教材を活用した学校の割合(中)	目標値		31.0	48.3	65.6	100	53.7%	D
	実績値		19.9	10.6	35.2			

設定理由 北方領土に関する学習において、施設や人材、動画教材を活用した体験を通じた学習を行うことにより、ふるさと教育の充実に向けた推進状況を把握。

分析(主な取組と成果)

北方領土に関する学習における施設や人材、動画教材等の活用促進に向けて、ふるさと教育・観光教育等実践事例交流会での説明及び情報提供により、活用した学校数が増加した。
(H30: 96校、R1: 51校、R2: 168校)

補助指標名⑦			R2年度	R3年度	R4年度	最終目標()	達成率	指標判定
	目標値						-	-
	実績値							

設定理由

分析(主な取組と成果)

補助指標名⑧			R2年度	R3年度	R4年度	最終目標()	達成率	指標判定
	目標値						-	-
	実績値							

設定理由

分析(主な取組と成果)

令和4年度 事務事業評価調査

施策名 豊かな人間性と社会性を育む教育の推進

施策コード 1112

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	令和4年度						令和4年度		ACTION 結果への対応(令和5年度)			
						前年度からの繰越事業費(千円)	事業費(千円)	執行体制			フルコスト(千円)	一次政策評価		二次政策評価意見	次年度方向性	二次評価意見への対応状況	
								うち一般財源	本庁	出先機関		人工計	対応方針番号				方向性
0797	-	一般	学校教育活動促進費(北海道立学校ふるさと応援事業費)	北海道の次代を担う人材を育成するため、ふるさと納税等を活用し、指定校の特色ある教育活動及びグローバル人材育成等の道立学校全体に係る取組の充実を図る。【教育政策課から移管】	高校教育課		13,948	469	0.3	1.6	1.9	28,738					
0426	-	事務	北海道心の教育推進会議に関すること	・推進会議及び幹事会の開催・心の教育関連施策調査の実施・心の教育推進キャンペーンの実施・11月強調月間の取組と展示	社会教育課		0	0	0.2	0.2	0.4	3,114					
0779	-	一般	児童生徒校外体験学習推進費	公立学校の校外における学習活動の引率に係る旅費等の措置	高校教育課		12,716	12,716	0.1	0.0	0.1	13,494					
0823	-	一般	北海道ふるさと教育・観光教育等推進事業	「アイヌの人たちの歴史・文化」と「北方領土」の学習の充実や、北海道の自然や文化、観光を含む産業等の教育資源等を活用、充実することにより、北海道についての理解を深め、匈奴に対する愛着やほこり、社会性を育むふるさと教育・観光教育等の推進を図る。	義務教育課		1,031	1,031	0.3	1.3	1.6	13,485	②	改善(指標分析)	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】※基本評価調査③<二次政策評価>参照	改善	「北海道いじめ防止基本方針」の改定(R5.3施行)により、ポイントとして掲げる「望ましい人間関係を構築する能力等の育成を図る取組の充実」、「いじめを生まない安全・安心な学校の環境づくりの推進」に効果的に取り組むことができるよう、学校、家庭、地域、行政の連携を深め、児童生徒に関わる全ての人々が共通認識を持って取組を推進するとともに、市町村教育委員会及び学校に対し指導助言する。
0814	-	一般	道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業	学習指導要領に基づいた道徳教育の質の向上とその一層の充実を図るため、本道の道徳教育に関する課題に対する取組を行い、道徳教育の推進を図る	義務教育課		23,698	0	0.6	3.1	3.7	52,499					
1209	-	一般	不登校児童生徒指導対策事業費	・(生徒指導費(不登校児童生徒指導対策事業費))不登校児童生徒の学校復帰のための指導施設である「適応指導教室」「民間施設(フリースクール)」と学校等が指導方法を協議し、連携を深め、学校復帰への取組を行う ・(問題を抱える子ども等の自立支援事業費)いじめ・不登校等の生徒の問題行動の未然防止、早期発見・早期対応につながる調査研究事業	生徒指導・学校安全課		4,855	84	2.5	3.0	5.5	47,667					
1210	-	一般	いじめ等対策総合推進事業費	・(生徒指導費(いじめ等対策総合推進事業費))いじめ・不登校等の生徒の問題行動への対応を行うため、次の事業を行う(・24時間教育相談電話・いじめ等対策本部・管内いじめ等対策本部・スクールカウンセラー活用事業・教育相談員セミナー・ネットコミュニケーション見守り活動) ・(スクールソーシャルワーカー活用事業)社会福祉等の専門的な知識や経験を有する者をスクールソーシャルワーカーとして活用し、問題を抱えた子どもに対し、関係機関等の連携や多様な支援方法を用いて課題解決を図る	生徒指導・学校安全課		171,344	115,107	3.0	5.8	8.8	239,843					
1211	-	一般	子どもの人間関係づくり推進費	人間関係を形成する力や自己表現力、他者への思いやりや規範意識を育み、予防的な観点から、いじめや不登校等の未然防止に向けた重点的な取組を行う。	生徒指導・学校安全課		2,916	0	0.7	0.9	1.6	15,370	①	改善(指標分析)	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】※基本評価調査③<二次政策評価>参照	改善	「北海道いじめ防止基本方針」の改定(R5.3施行)により、ポイントとして掲げる「望ましい人間関係を構築する能力等の育成を図る取組の充実」、「いじめを生まない安全・安心な学校の環境づくりの推進」に効果的に取り組むことができるよう、学校、家庭、地域、行政の連携を深め、児童生徒に関わる全ての人々が共通認識を持って取組を推進するとともに、市町村教育委員会及び学校に対し指導助言する。
1212	-	一般	被災児童生徒の心のケア対策費	東日本大震災により、精神的に不安を抱えている被災児童生徒に対して、心のケアを行う。	生徒指導・学校安全課		1,689	0	0.1	0.1	0.2	3,246					
1213	-	一般	道立高校スクールカウンセラー	スクールカウンセラーを道立学校に配置し、生徒へのカウンセリング、教職員・保護者への助言を行い、生徒のいじめ・不登校等の問題行動の未然防止、早期発見・早期解決を図る。	生徒指導・学校安全課		34,799	23,786	1.3	1.4	2.7	55,816					
1214	-	義務費	いじめ問題審議会(審議会経費)	いじめ問題審議会に関する事務	生徒指導・学校安全課		2,555	2,555	2.0	0.0	2.0	18,123					

令和4年度 事務事業評価調書	施策名	豊かな人間性と社会性を育む教育の推進	施策コード	1112
-----------------------	-----	--------------------	-------	------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	令和4年度						令和4年度		ACTION 結果への対応(令和5年度)		
						前年度からの繰越事業費(千円)	事業費(千円)	執行体制			フルコスト(千円)	一次政策評価		二次政策評価意見	次年度方向性	二次評価意見への対応状況
								うち一般財源	本庁	出先機関		人工計	対応方針番号			
1215	-	一般	子ども相談支援センター事業費	いじめや不登校などの学校等で生じる様々な問題について、子どもや保護者から直接相談を受けて問題解決につながる支援を行う。	生徒指導・学校安全課		19,519	15,175	2.0	0.6	2.6	39,757				
1216	-	一般	SNSを活用した相談事業費	いじめ等相談に対応するため、国庫補助事業によりSNSを活用した相談事業を実施する	生徒指導・学校安全課		9,296	6,198	0.5	0.0	0.5	13,188				
1217	-	一般	ヤングケアラーに係る教育支援体制構築費	ヤングケアラーの適切な支援を行うため、市町村や地域との連携体制を構築し、学校にスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを派遣する	生徒指導・学校安全課		4,790	3,194	1.5	0.1	1.6	17,244				
計							0	303,156	180,315	15.1	18.1	33.2				

